

2017年11月21日
株式会社ボーネルンド

行政と協業し、育児支援や地域コミュニティの活性化を推進 京都府宮津市、石川県小松市と協同開発したあそび場をオープン 子育てをあそびでサポート！それぞれ11月27日、12月1日より運営開始

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、11月27日にオープンする「にっこりあ」を京都府宮津市と、12月1日にオープンする「すくすくひろば」を石川県小松市と、それぞれ協業して開発しました。

京都府宮津市：市の子育て支援拠点として、交流イベントやサポート設備も充実の施設がオープン



■ 宮津市子育て支援センター「にっこりあ」

- ・所在地: 京都府宮津市字浜町 3012 4 階
- ・面積: 約 500 m²
- ・オープン: 11月27日
- ・運営管理: 宮津市
- ・利用料金: 無料

「にっこりあ」は、宮津市に住む就学前の子どもを持つ子育て世帯の暮らしをより豊かなものにするため、市内唯一の商業施設内に開設する、地域密着型のあそび場施設です。

多種多様な遊具で子どもが思う存分体を動かして遊べるのはもちろん、定期的なイベントの開催も予定されており、繰り返し訪れても飽きのこない、子育て支援の拠点施設を目指しています。親子の生活の相談役として保育士が常駐します。また、「にっこりあ」内に休憩スペースや子育て相談室が併設されるなど、育児サポートも充実する予定です。

石川県小松市：地域に親しんで楽しめるあそび場が、人気の複合施設内にオープン



■ こまつアズスクエア1階「カブッキーランド」

- ・所在地: 石川県小松市土居原町 10-10
- ・面積: 約 470 m²
- ・オープン: 12月1日
- ・運営管理: 株式会社こまつ賑わいセンター
(小松市出資法人)
- ・利用料金: 市内在住、市外在住で異なる

「すくすくひろば」は、同日オープン予定の大型複合施設「カブッキーランド」内に開設する、“よくまなび よくあそぶ”をテーマに、学びとあそびを一体化したあそび場です。

当施設のデザインや設置遊具は、豊かな自然や空港、石切り場といった、小松市の環境やストーリーに紐付いています。音のなる道やすべり台付きのプレイハウス、創造力を養う組み立て遊びができる遊具、よじ登るようにして遊べる高低差のあるブロックなど、幅広い年齢の子どもが心と頭と体のすべてを使って楽しむことができます。遊びながら地域のことを学び親しむことができ、地元への誇りを育みます。

子どもが遊べる場所の保障、地域活性化。社会の課題を解決し、多くの行政に支持されるあそび場開発

ボーネルンドは子どもの健やかな成長にあそびを通して貢献するため、行政と連携したあそび場開発の取り組みを積極的に行っています。昨今、公園の遊具撤去や地域コミュニティの希薄化から、子どもが外で存分に遊べる環境が少なくなり、全国的に子どもの体力やコミュニケーション能力の低下という問題が表出しています。当社と行政で協業し開発したあそび場施設は、全身を大きく動かして遊びながら子どもの主体性や協調性を育むことができ、親同士の交流の場としても親しまれています。また、プレイリーダーの育成や施設運営をトータルで支援できることから、作って終わりではなく、継続的に地元の方々に愛される施設として運営することができます。こうした点が地域活性化や社会貢献につながったとして、利用する親子や提携先の行政から好評をいただいています。

当社は 2004 年から、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタートしました。行政との協業の中で生まれたあそび場施設には、このキドキドの開発・運営の中で培われた、子どもが自身の成長につながるあそびを心から楽しめる道具や仕掛けのノウハウが集約されています。現在では、キドキドと、当社が関わった行政のあそび場に、全国で年間約 350 万人の親子が訪れています。今後も、あそびを通じた子育て支援と地域活性化に積極的に取り組んでまいります。

行政と協業したあそび場の開発 事例紹介



■ 「HUGOOD TAKAISHI」
(大阪府高石市 2016 年オープン)

少子化対策を推進する大阪府高石市が当社と協業し、子育て支援施策の一環として当施設を開業し、多くの親子に好評をいただいています。また、同施設は当社が市から指定管理者として認定を受け、管理・運営を行っています。高石市とは今後も官民連携で、子育て世代に優しい街づくりを進めていく予定です。



■ 「プレイヴィル 天王寺公園」
(大阪府大阪市 2015 年オープン)

整備が行き届いていなかった大阪府大阪市の天王寺公園を、地元の人々に愛される場所として復活させるために、再開発事業の一環として当施設を開発しました。大小様々な遊具で全身を動かしたり、砂や水などの自然に触れたり、汚れを気にせずお絵描きや自己表現をしたりできる環境が整っています。



■ 「ペップキッズこおりやま」
(福島県郡山市 2011 年オープン)

東日本大震災による原発事故の影響を受けた福島県郡山市で、「本来なら外で体験するあそびをすべて屋内でできること」を目標に当施設を開発しました。現在は外あそびの代替に限らず、安全に集える場所、親同士の情報交換の場としても機能しています。延べ 186 万人(10 月 31 日現在)が来場し、子育てに必須の「インフラ」として支持されています。

【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開しています。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 83 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国 21 ヶ所、年間 272 万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国約 30 ヶ所、年間 300 万人以上の親子が訪れています。

≪報道関係の方のお問い合わせ先≫	
株式会社ボーネルンド 広報室 担当：金山、村上 T E L : 03-5785-0860 E-mail : public-relations@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担当：丸山、竹之下 T E L : 03-4570-3191 E-mail : bornelund@ml.prap.co.jp
≪一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）≫	
株式会社ボーネルンド TEL : 0120-358-518（月～金 10:00～17:00）	